

## 祝 辞



# 組織活動の円滑化に期待

〔社〕日本設備設計事務所協会  
会長 福西輝男

夏盛りの季節、ここに沖縄県設備設計事務所協会の協会誌『建築設備』創刊にあたり、心よりのお慶びを申し上げ、創刊に際しての会員各位、役員の方々のご努力に深く敬意を表する次第であります。

沖縄県発展のなかでも建設産業はめざましい発展を遂げてまいりましたが、特に建築設備の分野では米国における種々の設計手法等が採用され、県外の会員とは違った設備設計のあり方を見聞致しております。日本と米国の差を日常の中で体験されている訳ですが、設備設計者の立場がどのようなものか、その差はどのようなものか、非常に興味のあるところであり、協会誌創刊を機会に、これらを資料として掲載され私共の参考に供して戴ければと存じます。また今後の協会誌には日設協の動きも掲載され、会員の皆様とより一層の連携が保たれるものと思いますが、協会誌は会員相互の意見交換の場、研究発表等の場でもありますので、本誌がその役目を果たし組織活動の円滑油となるべく発行されていくことを、期待しているものです。

現在の日設協における動きは、士資格の強化を図るため設備系団体の意見交換の場を設けるほか、独自の活動として、建築設備士に建築士に準ずる資格付与の請願を行なうため、貴会を始め全国各協会のご協力を得て署名運動を展開しております。これによって直ちに結果が得られるものではありませんが、近年建築物の設備多様化、建築設備士の必要性和資格明確化の理解を国に求め、我々の主張を反映させる目的も持つものでもあります。日設協の活動は、このほか事務所登録制度の推進、分離発注合理化を大きな目標としており、これらの実現に努力致す所存でありますので、貴会のご協力をお願い申し上げます。

沖縄県の本土復帰は、戦後日本の大きな課題でありましたが、会員の皆様を始め沖縄県民各位のご努力により今日の沖縄県を誕生させ、発展させてまいりました。今日までのご努力に改めて敬意を表する次第です。沖縄県設備設計事務所協会が、会員皆様の団結により平良会長のもと、更に発展されることを祈念申し上げてご挨拶とさせていただきます。



一般社団法人 沖縄県設備設計事務所協会